

みちのくだより 岩手

盛岡へおでっくなんせ

(株) 北杜地質センター
藤村 正二

ハア一城下盛岡七重八重
石の中にも花が咲く
ハア一私しゃ一重の恋に咲く
さて からめてヨどっこいナ一
ハア一岩手かねつるからめてしょ

と盛岡音頭にも唄われた、岩手県をからめる県庁所在地が「盛岡市」です。

地質学的には白亜紀の花崗岩類が、市街地中心部にドーンと分布し、歌詞にもある「石割桜」が毎年4月末には裁判所前できれいに咲き誇ります。

願をかなえるなら市街地東方に「盛岡八幡宮」が鎮座しています。北側には学業の神様「天満宮」、南側には酒の神様「松尾神社」があります。盛岡の春夏秋冬祭事には欠かすことの出来ない神社群で、八幡宮の秋の例大祭には多くの人で賑わいます。

市街地を流れる中津川は良質の伏流水の源で、段丘崖下の下町には「大慈清水」に代表される多くの清水があり、井戸端会議の場となる他、造り酒蔵元もあり、京都の大社がこの地域環境を求め松尾神社を起こしたとされています。

城下町だけに由来する地名も多く、肴町、惣門、鉦屋町、紺屋町、花屋町等々今でも町名として残っています。古き良き岩手銀行の建物周辺を、町名を探しながら散策するのも盛岡を知る良い機会となります。

旧市街地の北方には岩手大学があります。

今では市街地の一角で、高校、小中学校、岩手河川国道事務所、NHK 等文教地域となっています。地盤工学には欠かせない、齋藤徳美先生、大河原正文先生、越谷 信先生、井良沢道也先生等々頼りがいのある先生方は、種々ネットワークを生かした会

合も多く開催しています。学内は設備も充実し、各種催し物の開催には非常によい環境にあります。

盛岡市は北東北の拠点として、東北は仙台のみで実施されている資格試験・更新講習なども開催できる環境にあります。

盛岡へおいでの際は三大麺(わんこそば、盛岡冷麺、じゃじゃ麺)、さんさ踊りもいいのですが、ぶらり古き良き町を散策することもお薦めします。

盛岡はいい町ですよ。皆さんおでっくなんせ



石割桜



八幡宮



岩手大学